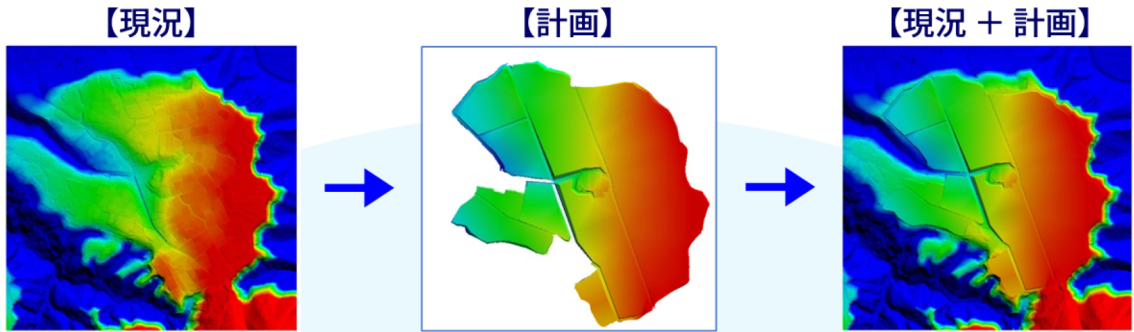


LandXMLもIFCも、国交省最新版に準拠して  
 “そのまま納品できる”データを生成。

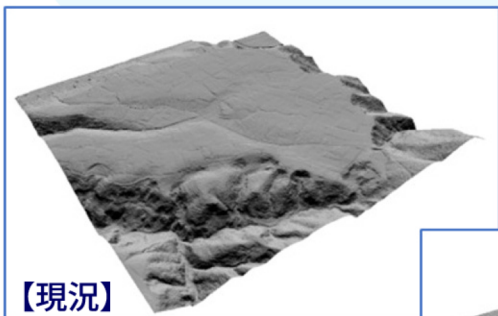
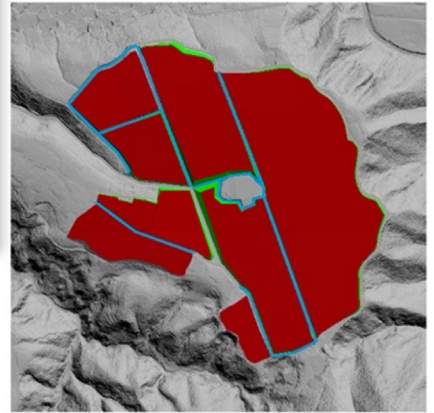
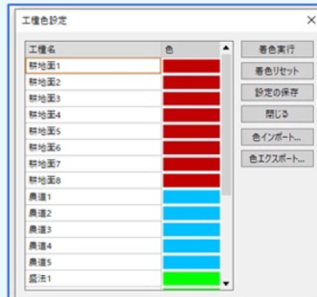
《地形データ》



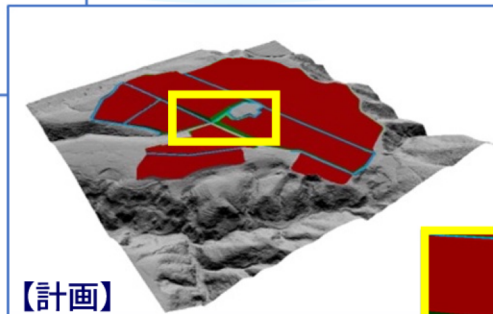
『LandXML』データは色情報を持ちませんが、本システムでは着色を可能にしています。

『J-LandXML』データではこのように  
 工種区分が義務つけられています。

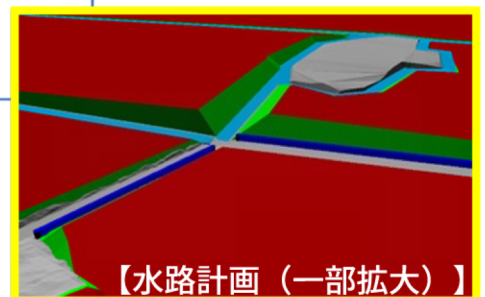
弊社『AGRI 3D（農業土木設計）』や  
 『暗渠設計』などとデータ連携します。



《3D表示》



《工種と色設定》

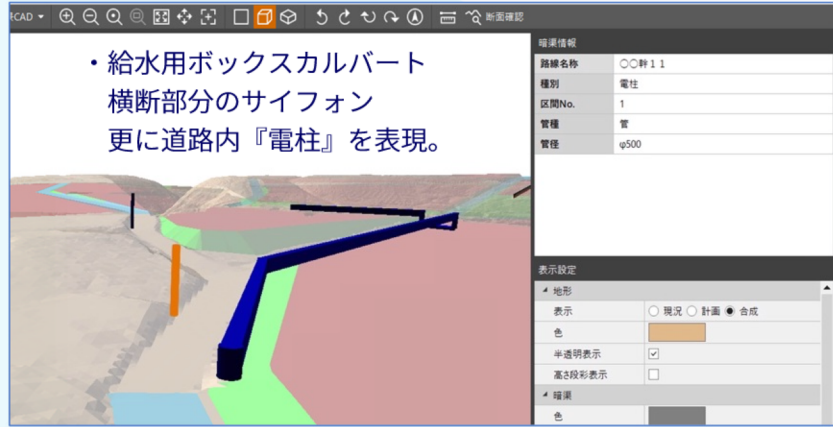
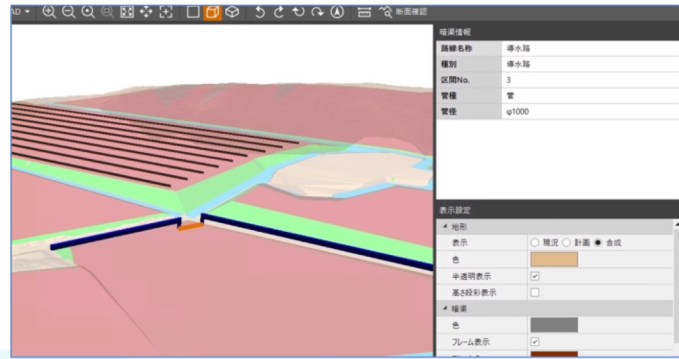
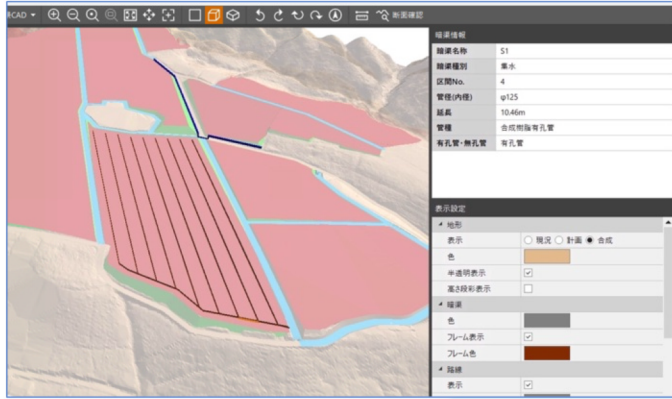


※ BIM/CIM（Building/ Construction Information Modeling）  
 BIMは“Building Information Modeling”の略で、  
 主に建物情報のモデル化のことを指します。  
 対してCIMは“Construction Information Modeling”の略称であり、  
 建設情報のモデル化を指します。  
 土木事業は“BIM for infrastructure”などと言われます。

## 《半透明表示（暗渠と既設埋設の確認）》

・暗渠配管と掘削断面を表示。

・給水用ボックスカルバート  
横断部分のサイフォンを表現。



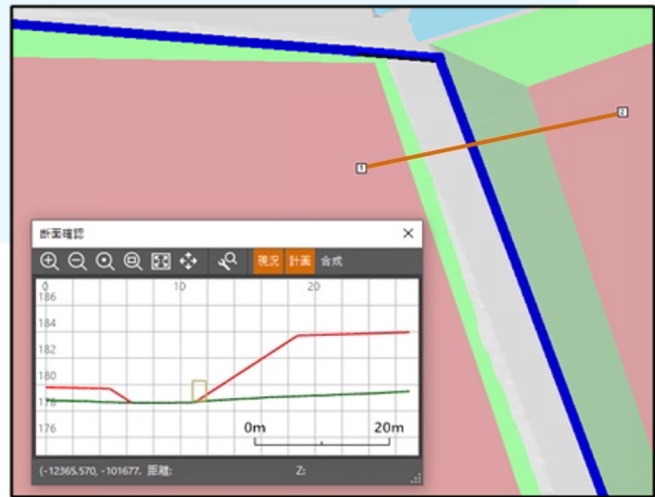
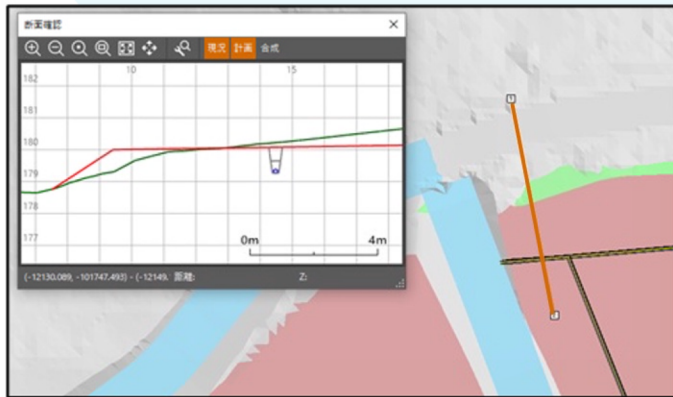
## BCC Maker の特徴

— 令和08年03月末現在のVer. —

● BCC Makerでは、Viewer版も用意してあります。

このViewerでは、納品された『LandXML』データや『IFC』データもインポートし表示できます。

## 《断面確認》



現状対応しているものは以下のとおりです。

- ・圃場・路面・法面・暗渠掘削面などの面モデル。（着色可能）
- ・圃場・路面・法面・暗渠掘削面などの面モデル。
- ・暗渠配管、既設管データなどの構造物フレームモデル。
- ・道路線形の路線データ。
- ・用地界を表現するCADデータ（3次元対応）

今後、路線断面表示。柵や電柱など『直立』構造物などへの対応を予定。



株式会社未来システム工房

〒065-0022 北海道札幌市東区北22条東3丁目1-35 ハイテクビル・さっぽろ141

☎ 011-792-5211 🌐 <https://www.miraisystem.jp/>